



CAMPANOLA

取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

CAN13

このたびは、カンパノウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ (<http://citizen.jp/>) でも操作説明がご覧いただけます。

また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

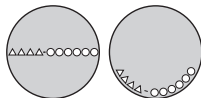
機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。

この番号を「側番号」といいます。

側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。図では「△△△△」が機種番号です。

<刻印の位置の例>






時計によって表示位置は異なります。

安全上のご注意（必ずお守りください）



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

絵表示の意味をよく理解してから74ページ～82ページを必ずお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

<保護シールについて>

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となります場合があります。

<バンド調整について>



お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

特殊な構造のりゅうずについて

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずの場合があります。

ねじロックりゅうずの使い方

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 りゅうずが飛び出す まで、左に回す	 りゅうずを押し込 みながら右に回し、 しっかり締める

目次

特殊な構造のりゅうずについて..... 4

A. ミニッツリピーター

➡ 8 ページへ

機種：676*



1. 商品の特長.....	10
2. ご使用になる前に.....	11
3. 各部名称と主な働き.....	12
4. 時刻合わせ.....	14
5. カレンダー合わせ.....	16
6. 各機能モードの切り替え方.....	20
7. 通常表示.....	21
1) 時刻報知音.....	22
2) カレンダー呼び出し.....	24
8. アラーム I (AL - 1).....	25
9. アラーム II (AL - 2).....	28

10. ローカルタイム (L - TM).....	31
11. ローカルタイムアラーム (L - AL) ...	33
12. 秒修正.....	36
13. サウンドモニター.....	38
14. 基準位置の確認.....	39
15. 基準位置合わせ.....	40
16. このような場合には.....	43
17. 製品仕様.....	44

B. エコ・ドライブ クロノ

➡ 46 ページへ

機種：980 *

1. 商品の特長 48
2. ご使用になる前に 48
3. 各部の名称 49
4. 時刻とカレンダーの合わせ方 50
 - ・時刻の合わせ方
 - ・カレンダーの合わせ方
 - ・月齢の合わせ方
5. クロノグラフの使い方 55
6. 充電量表示の見方 59
7. 充電時間の目安 61
8. エコ・ドライブ
特有の機能について 62
 - ・充電警告機能
 - ・過充電防止機能



9. エコ・ドライブ取り扱い上の注意 64
10. オールリセットについて 66
11. 製品仕様 68

C. レディス



➡ 69 ページへ

機種：033 *

お取り扱い

サービス

1. 商品の特長 70
2. 時刻の合わせ方 70
3. 年差10秒の時間精度について 71
4. 電池寿命切れ予告機能について 72
5. 製品仕様 73

お取り扱いにあたって 74

お問い合わせ窓口 83

A. ミニッツリピーター

1. 商品の特長 10
2. ご使用になる前に..... 11
3. 各部名称と主な働き 12
4. 時刻合わせ 14
5. カレンダー合わせ..... 16
6. 各機能モードの切り替え方..... 20
7. 通常表示..... 21
 - 1) 時刻報知音 22
 - 2) カレンダー呼び出し 24
8. アラーム I (AL-1) 25

MINUTE REPEATER

機種 No. 676*

- | | |
|---------------------------|----|
| 9. アラーム II (AL-2) | 28 |
| 10. ローカルタイム (L-TM) | 31 |
| 11. ローカルタイムアラーム (L-AL)... | 33 |
| 12. 秒修正..... | 36 |
| 13. サウンドモニター | 38 |
| 14. 基準位置の確認..... | 39 |
| 15. 基準位置合わせ..... | 40 |
| 16. このような場合には | 43 |
| 17. 製品仕様 | 44 |

1. 商品の特長

この時計は、ミニッツリピーター（音による時刻報知機能）・パーペチュアルカレンダー機能・アラーム機能・ローカルタイム機能等をもった、多針表示式アナログ水晶時計です。

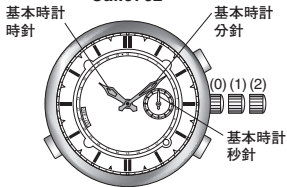
- ・ボタンのワンタッチ操作で、現在時刻を音で知らせるミニッツリピーター（時刻報知機能）
- ・一度カレンダーをセットすれば、その後は修正する必要のないパーペチュアルカレンダー機能
- ・アラーム機能
 - ・現在時刻から簡単に目的の時刻（アラームを鳴らしたい時刻）へアラームセットができ、1回鳴り終わるとアラームセットは自動的に解除されるアラーム1（AL-1）
 - ・毎日朝・昼・夜の時間帯によって鳴る音がちがうデイリーアラーム（AL-2）機能
 - ・ローカルタイムに連動して毎日アラームを鳴らすことができるローカルタイムアラーム（L-AL）機能
 - ・30分単位の時差修正ができるローカルタイム機能

2. ご使用になる前に

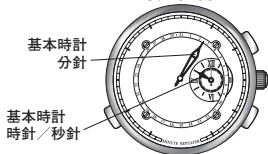
*お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは、異なる場合があります。

【基本時計】

Cal.6762

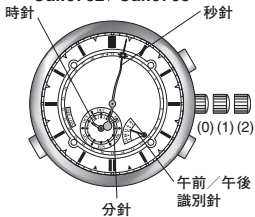


Cal.6765



【副時計】

Cal.6762 / Cal.6765

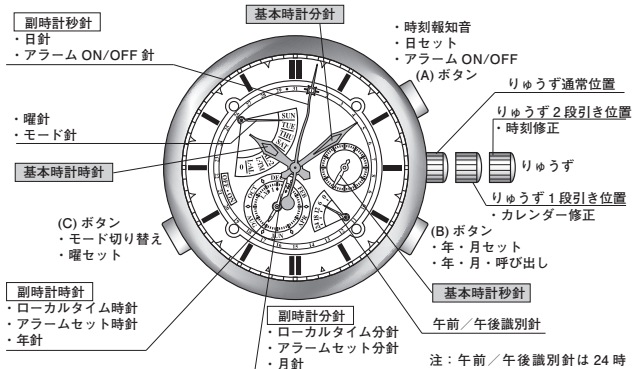


Cal.6762 と Cal.6765 のちがい

6765の基本時計の時針は、3時側の小さな針です。その他の針位置、操作方法は同じです。

3. 各部名称と主な働き

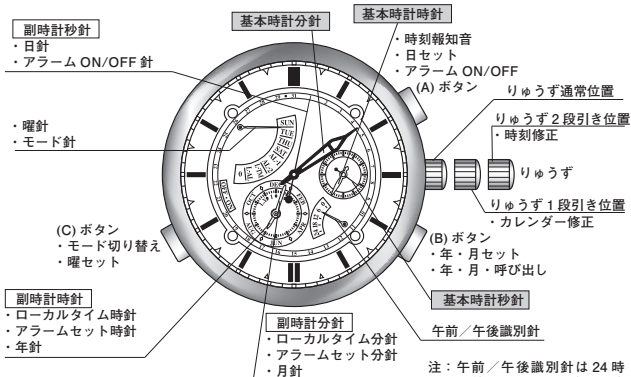
Cal.6762



注：この時計の年とはうるう年からの経過年です

注：午前/午後識別針は24時間針としてではなく、あくまで午前・午後の識別としてご利用ください。

Cal.6765



注：この時計の年とはうるう年からの経過年です

注：午前/午後識別針は24時間針としてではなく、あくまで午前・午後の識別としてご利用ください。

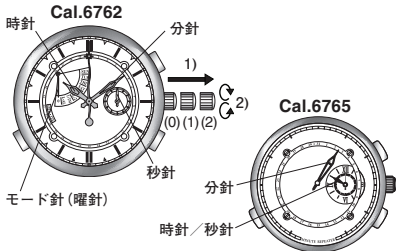
4. 時刻合わせ

時刻合わせは、必ず副時計・基本時計ともに現在時刻に合わせてください。これは、時刻報知やアラームを正しく作動させるために行うものです。

「時刻報知音」はこの副時計によって鳴りますので、基本時計に合わせていないと現在時刻と一致した鳴り方をしませんのでご注意ください。

時刻報知音が基本時計の現在時刻に対して、±1分ずれていることがあります。このような場合には副時計を合わせ直してください。

<基本時計の時刻合わせ>



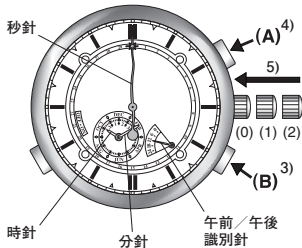
(例) 時刻報知音が1分足りないときは、副時計を1分先へ進めます。

- 1) 秒針が0秒で停止するようにリューズを2段引きします。

※このときモード針は“0”を示し、時刻修正状態にあることがわかります。

また同時に、日針が副時計秒針に切り替わって0秒位置(12時位置)に停止します。

＜副時計の時刻合わせ＞



2) りゅうずを左右いずれかに回転させて、時・分針を現在時刻に合わせます。

3) (B) ボタンを押して副時計の時・分針を基本時計の時刻に合わせます。

※ (B) ボタンは1回押すごとに1分ずつ進み、押し続ければ早送りします。

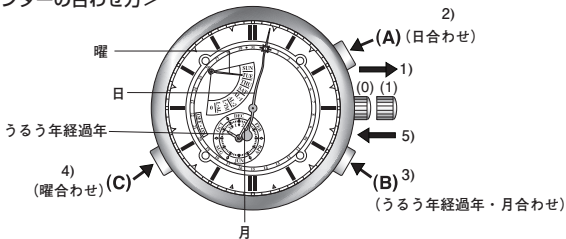
【注意】副時計は分針→時針→午前/午後識別針と連動しており、午前/午後に注意しながら時・分針を合わせます。

4) 副時計の秒針が0秒に停止していないときは、(A) ボタンを押して秒針を0秒に合わせます。(A) ボタンは1回押すごとに1秒ずつ進み、押し続ければ早送りします。

5) 時報等に合わせたりゅうずを通常位置まで押し込めば、正しい時刻を刻みはじめます。このとき、モード針も曜針に切り替わって、通常表示になります。

5. カレンダー合わせ

<カレンダーの合わせ方>



1) リューズを1段引き位置にします。

このときローカルタイム時・分針が、うるう年経過年・月針に切り替わります。

※ (A)、(B) ボタンは1回押すごとに針が1つずつ進み、押し続ければ早送りします。

2) 日合わせ

(A) ボタンを押して日針を合わせます。

3) うるう年経過年・月合わせ

- ・今年がうるう年から何年目に当たるかを確認します（下表参照）。
- ・(B) ボタンを押して、うるう年経過年→月針の順に合わせます。
月針とうるう年経過年針は連動しています。

うるう年経過年表示の見方



図は●→3←●の中にうるう年経過年針があるので“うるう年から3年目”であることがわかります。

うるう年経過年早見表

年	経過年
— 2016 2020 2024	0 (うるう年)
— 2017 2021 2025	1
— 2018 2022 2026	2
2015 2019 2023 2027	3

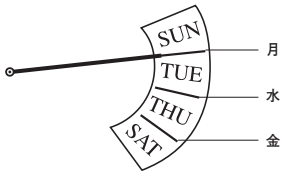
うるう年については、弊社ホームページで年表がご覧いただけます。

<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>

4) 曜合わせ

- ・(C) ボタンを押して曜針を合わせます。
- ・(C) ボタンを1回押すごとに1曜日ずつ進みます。早送りはできません。

曜日の見方



図は SUN と TUE の間の線を曜針が示していますので、“月曜日”であることがわかります。

- 5) カレンダー合わせが完了しましたら、りゅうずをきちんと通常位置にもどします。**
 ※りゅうず1段引きのままでは、翌日になってもカレンダーは切り替わりません。

パーペチュアル機能（カレンダー無修正機能）

この時計のカレンダーは月末無修正、うるう年無修正のため、通常の使用ではカレンダー無修正で使用できます。

例：

月末無修正：11月30日→12月1日へ自動修正

うるう年無修正：2月29日（うるう年）→3月1日へ自動修正

2月28日（平年）→3月1日へ自動修正

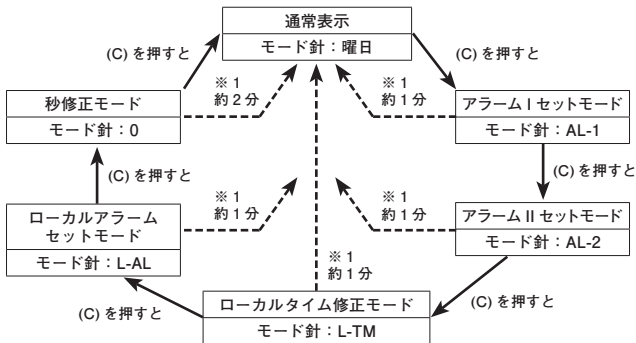
◎非存日自動修正機能

まちがってカレンダー上存在しない日に合わせても、リ्यूズを押し込めば自動的に翌月の1日へ自動修正されます。

例：11月31日→12月1日

※ただし、曜日は切り替わりませんのでご注意ください。

6. 各機能モードの切り替え方



※1. これらのモードのときにボタン操作をしないで放置しておくと自動的に
 -----> **通常表示** にもどります。

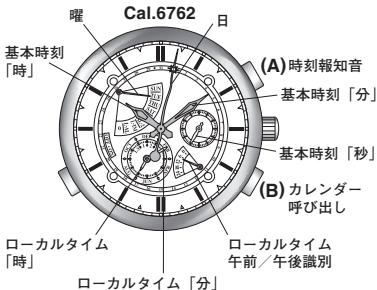
7. 通常表示

通常の時計表示は下図のようになります。

通常表示例：基本時刻10時09分35秒／

1日／火曜日

ローカルタイム午前7時09分



・この通常表示状態で

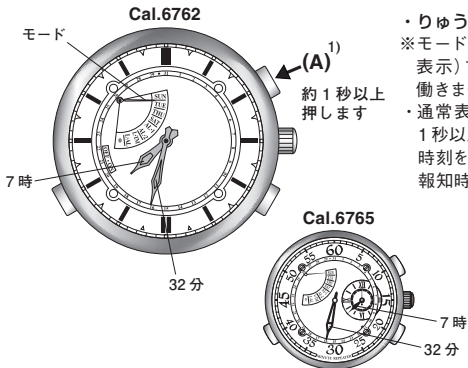
※ (A) ボタンを押すことにより、時刻報知音が鳴ります。(詳しくは「1」時刻報知音を参照ください)。

※ (B) ボタンを押すことにより、カレンダー呼び出しができます。(詳しくは「2」カレンダー呼び出しを参照ください)。



1) 時刻報知音

この時計には、時刻を音で知らせる「時刻報知音機能」というユニークな機能があります。暗い場所で時刻が知りたいときなどに便利です。



- ・りゅうずは通常位置です。
- ※モード針が曜日表示(通常表示)でないとその機能は働きません。
- ・通常表示で(A)ボタンを約1秒以上押すと、そのときの時刻を報知音で知らせます。報知時刻は12時間制です。

(例) 7時32分の報知音

1) 「高い音」が1秒毎に7回鳴ります(時音7回):7時

2) 「高い音+低い音」が1秒毎に2回鳴ります(15分音2回):30分

3) 「低い音」が1秒毎に2回鳴ります(分音2回):2分

現在時刻が7時32分であることが音でわかります。

※報知音を途中で止めたいときには、(A)、(B)、(C)いずれかのボタンを1回押せば鳴り止みます。

【注意】

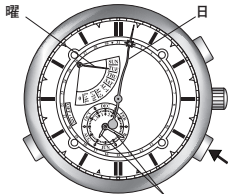
- ・カレンダー呼び出し中には、この機能は働きません。
- ・表示時刻と報知音が合っていないときは、時刻合わせが正しく行われていません。「4. 時刻合わせ」を参照して合わせ直してください。

2) カレンダー呼び出し

この時計のカレンダー機能は、通常、基本時計の“日”、“曜”を表示しています。さらにボタン操作によって“うるう年経過年”、“月”も呼び出すことができます。

通常表示

<下図は1日火曜日を示しています>



ローカルタイム時・分

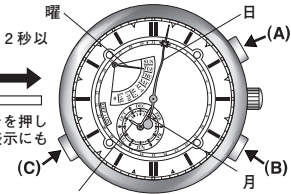
カレンダー呼び出し表示

<下図はうるう年1月1日火曜日を示しています>

(B) ボタンを2秒以上押す



※どのボタンを押しても通常表示にもどります



うるう年経過年

- ・リ्यूズは通常位置のままです。
- ・(B) ボタンを約2秒以上押すと、ローカルタイム時・分針がうるう年経過年および月に切り替わります。

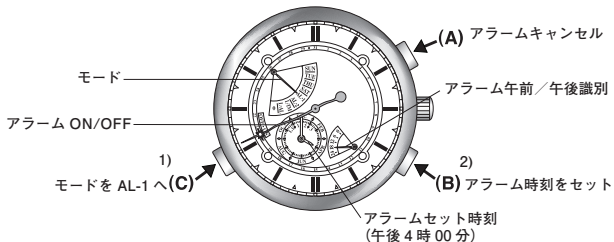
8. アラーム I (AL - 1)

アラーム I

現在時刻から簡単に目的の時刻（アラームを鳴らしたい時刻）へアラームセットができ、1回鳴り終わるとアラームセットは自動的に解除されます。

アラーム I のセット

- ・1分単位のセットができます。
- ・午前・午後は午前／午後識別針で確認します。
- ・アラームセット分針・時針と午前／午後識別針は連動しています。
- ・(B) ボタンは1回押すごとに1分ずつ進み、押し続ければ早送りします。



・りゅうずは通常位置のままです。

(例) 今日の午後4時00分にアラームが鳴るようにしたい

- 1) (C) ボタンを押してモード針をAL-1に合わせます。このとき、アラームセット針および午前/午後識別針は、現在時刻まで早送りされます。
 - 2) (B) ボタンを押して、アラームセット時・分針を午後4時00分に合わせます。このとき、午前/午後識別針が午後を示していることを確認します。
- ※ (B) ボタンを押すと同時にアラーム ON/OFF 針が ON 状態を示します。

【注意】 午前0時～0時30分の間にセットした場合は、アラームセット針が30分前後の往復運動をしますが問題はありません。

3) セットが完了しましたら、(C) ボタンを押して通常表示にもどします（モード針は曜表示になります）。

【アラーム I の鳴りについて】

アラームセット時刻になると、アラームが約 10 秒間鳴ります。アラーム音を途中で止めたいときには、(A)、(B)、(C) のどのボタンを押しても止まります。

アラームをキャンセルしたいとき

- ・(A) ボタンを押すとアラーム ON / OFF 針が ON → OFF に切り替わります。
- ※このとき、アラームセット時刻は現在時刻にもどります。
- ※アラーム I (AL-1) モードの状態を約 1 分以上放置すると、自動的に通常表示にもどります。

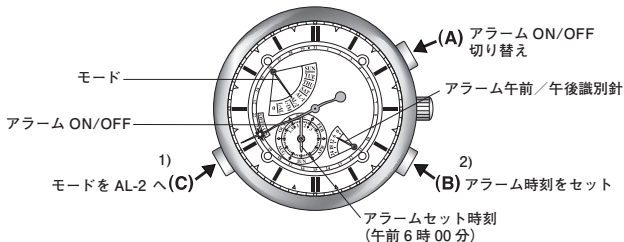
9. アラーム II (AL - 2)

アラーム II (デイリーアラーム)

一度アラームをセットすれば、毎日基本時計がセット時刻と一致するたびにアラームが鳴ります。

アラーム II (デイリーアラーム) セット

- ・1分単位のセットができます。
- ・午前・午後は午前／午後識別針で確認します。
- ・アラームセット分針・時針と午前／午後識別針は連動しています。
- ・(B) ボタンは1回押すごとに1分ずつ進み、押し続ければ早送りします。



・りゅうずは通常位置です。

(例) 毎日午前 6 時 00 分にアラームが鳴るようにしたい

- 1) (C) ボタンを押してモード針を AL-2 に合わせます。このとき、ローカルタイム各針がアラームセット時・分針に、また日針がアラーム ON / OFF 針に切り替わります。
- 2) (B) ボタンを押してアラームセット時・分針を午前 6 時 00 分に合わせます。このとき、午前/午後識別針が午前を示していることを確認します。
 - ・(B) ボタンを押すと同時にアラーム ON / OFF 針が ON 状態を示します。

【注意】 午前0時～0時30分の間にセットした場合は、アラームセット針が30分前後の往復運動をしますが問題はありません。

3) セットが完了したら (C) ボタンを押して通常表示にもどします。

【デイリーアラーム (アラームII) の鳴りについて】

アラームセット時刻になると、このデイリーアラームは、朝・昼・夜の時間帯によってそれぞれちがった音が鳴ります。

- ・朝 ……………4:00 ～ 11:59 (約 14 秒間鳴ります)
- ・昼 ……………12:00 ～ 17:59 (約 15 秒間鳴ります)
- ・夜 ……………18:00 ～ 3:59 (約 16 秒間鳴ります)

アラーム音を途中で止めたいときには、(A)、(B)、(C) のどのボタンを押しても止まります。

アラームを鳴らしたくないときは

モード針が AL-2 の状態で (A) ボタンを押すと、アラーム ON から OFF に切り替わります。

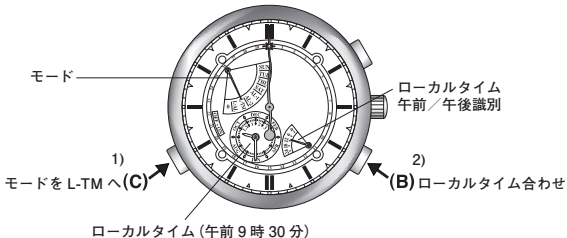
※このモードの状態を約 1 分以上放置すると、自動的に通常表示にもどります。

10. ローカルタイム (L - TM)

ローカルタイムの合わせ方

- ・30分単位の時差修正ができます。
- ・ローカルタイム分針・時針と午前／午後識別針は連動しています。
- ・(B) ボタンは1回押すごとに30分ずつ進み、押し続ければ早送りします。

(ローカルタイムセット表示)



・りゅうずは通常位置のままです。

(例) 基本時計が東京の現在時刻午後5時30分のとき、ローカルタイムをパリの現在時刻午前9時30分に合わせたい

- 1) (C) ボタンを押してモード針をL-TMに合わせます。このとき、日針は31日(12時)位置に停止します。
- 2) (B) ボタンを押してローカルタイム時・分針を午前9時30分に合わせます。このとき、午前/午後識別針が午前を示していることを確認します。

【注意】 午前0時～0時30分の間にセットした場合は、ローカルタイム時・分針が30分前後の往復運動をしますが問題はありません。

3) ローカルタイム合わせが完了したら、(C) ボタンを押して通常表示にもどします。

※このローカルタイムセットモードの状態を約1分以上放置すると、自動的に通常表示にもどります。

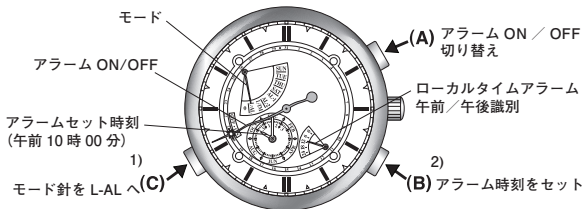
11. ローカルタイムアラーム (L - AL)

ローカルタイムアラーム (L-AL)

ローカルタイムにおいて一度アラームをセットすれば、毎日ローカルタイムがセット時刻と一致するたびにアラームが鳴ります。

ローカルタイムアラームのセット

- ・1分単位のセットができます。
- ・午前・午後は午前／午後識別針で確認します。
- ・アラームセット分針・時針と午前／午後識別針は連動しています。
- ・(B) ボタンは1回押すごとに1分ずつ進み、押し続ければ早送りします。



・りゅうずは通常位置のままです。

(例) パリ時間午前 10 時 00 分にアラームが鳴るようにセットしたい

- 1) (C) ボタンを押して、モード針を L-AL に合わせます。
このとき、ローカルタイム各針がアラーム時・分針に、また日針がアラーム ON / OFF 針に切り替わります。
- 2) (B) ボタンを押して、アラームセット針を午前 10 時 00 分に合わせます。
このとき、午前 / 午後識別針が午前を示していることを確認します。
・(B) ボタンを押すと同時にアラーム ON / OFF 針が ON 状態を示します。

【注意】 午前0時～0時30分間にセットした場合は、アラームセット針が30分前後の往復運動をしますが、問題はありません。

3) セットが完了したら、(C) ボタンを押して通常表示にもどします。

【ローカルタイムアラームの鳴りについて】

アラームセット時刻になると、アラームが約16秒間鳴ります。

※アラーム音を途中で止めたいときには、(A)、(B)、(C)のどのボタンを押しても止まります。

アラームを鳴らしたくないときは

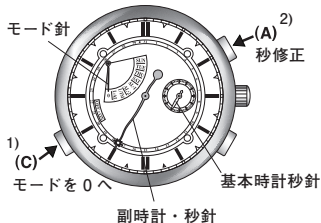
モード針がL-ALの状態では(A)ボタンを押すと、アラームのON→OFFに切り替えられます。

※このローカルタイムアラームセットモードの状態を約1分以上放置すると、自動的に通常表示にもどります。

12. 秒修正

秒を修正したいときは、次の“秒修正”操作で容易に秒修正ができます。

秒修正の方法



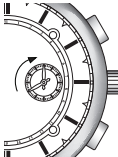



・りゅうずは通常位置のままです。
基本時計と副時計の両秒針を現在時刻に合わせます。

- 1) (C) ボタンを数回押して、モード針を“0”に合わせます。このとき、日針が副時計の秒針に切り替わって1秒運針します。
- 2) 時報等に合わせて (A) ボタンを1回押すと、2つの秒針は次ページの図の運針をして正しい時刻を刻みはじめます。

- 3) 秒修正が完了したら (C) ボタンを押して、通常表示にもどします。
(モード針は曜表示になります)

※この状態で2分以上放置しておくと、自動的に通常表示にもどります。

		修正時の秒針位置	
		秒 針 (基本時計)	秒 針 (副時計)
0秒～29秒	 <p>秒針は停止する。副時計の秒針が停止している秒針の位置までくると、再び同時に運針しはじめる。</p>	 <p>秒針は0秒位置に帰零され、再び運針をはじめる。</p>	
30秒～59秒	 <p>秒針は0秒位置に帰零され、再び運針をはじめる。このとき、基本時計の分針も1分進められる。</p>	 <p>秒針は0秒位置に帰零され再び運針をはじめる。このとき、副時計の分針も1分進められる。</p>	

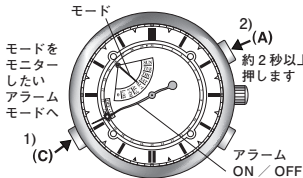
13. サウンドモニター

サウンドモニター

この時計のアラームI、アラームII(ディリーアラーム)、ローカルタイムアラームのそれぞれのアラーム音を容易に確認できるのが、このサウンドモニターです。

・りゅうずは通常位置です。

- 1) (C) ボタンを押して、モード針をモニターしたいアラームセットモード(AL-1 / AL-2 / L-AL)に合わせます。
- 2) (A) ボタンを約2秒以上押しすと、サウンドモニターができます。



【注意】

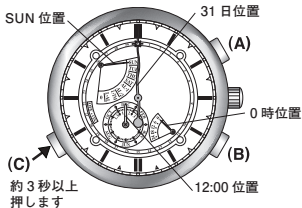
- ・アラームIはアラーム ON / OFF 針(日針)が OFF のときだけ鳴ります。
- ・アラームII: ローカルタイムアラームは ON / OFF いずれの場合も (A) ボタンを約2秒以上押しすとサウンドモニターできますが、同時に ON / OFF の切り替えがされますのでご注意ください。

14. 基準位置の確認

基準位置の確認

カレンダー／ローカルタイム／各種アラーム機能に使われる各針が正しく作動できる状態（基準位置）になっているかどうかを確認します。

基準位置の確認方法



・りゆうずは通常位置のままです。
 ※この操作はモード針の位置に関係なくできます。

(C) ボタンを約3秒以上押したとき、各針が図の位置を示すことを確認します。

日針：31
 曜針：SUN
 ローカルタイム：12:00
 午前／午後識別針：AM 0時

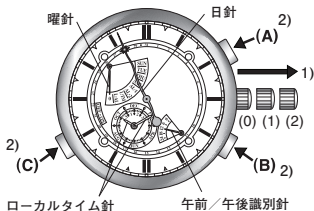
示していない場合→次ページの「15. 基準位置合わせ」を行います。

※約20秒経過すると自動的に通常表示にもどります。(A)、(B)、(C)のいずれのボタンを押しても、通常表示にもどります。

15. 基準位置合わせ

基準位置合わせが正しくできていないと、各種機能が正しく作動しません。このような場合には、次の手順で基準位置合わせを行ってください。

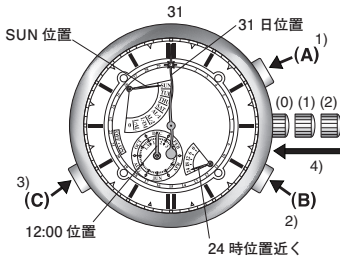
※電池交換を行った場合も、この基準位置合わせが必要です。



オールリセットします

- 1) リ्यूズを2段引き位置にします。(このときモード針が0を示します)
- 2) ボタン3つ((A)、(B)、(C))を同時に2秒以上押します。
- 3) ボタン3つを離すと、日針→曜針→ローカルタイム針/午前/午後識別針の順に各針が作動すれば、オールリセットされたことになります。(このとき、確認音が鳴ります)

基準位置合わせ



・りゅうずは 2 段引きのままです

1) (A) ボタンを押して日針を「31 日」(12 時位置)に合わせます。

2) (B) ボタンを押して午前／午後識別針を「24 時近く」にしてローカルタイム針を「12 時 00 分」に合わせます。

3) (C) ボタンを押して曜針を「SUN」に合わせます。

※曜針が「SUN」より上の位置に出ることがありますが、通常の使用では起こりません。曜針が最初から「SUN」の位置にあっても、再度「SUN」に合わせ直します。

4) りゅうずを必ず通常位置まで押し込みます。このとき、午前／午後識別針が0時を示せば完了です。

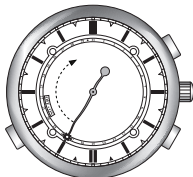
- ・基準位置合わせ完了後は、本文中の「4. 時刻合わせ」および「5. カレンダー合わせ」を参照して修正してください。

16. このような場合には

日針が正回転で早運針してしまう

これは基準位置合わせ後に、副時計の時・分針合わせをしないと起る現象です。(時刻合わせ未完了警告表示)

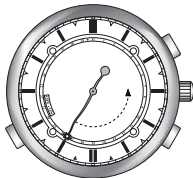
このような場合には、本文「4. 時刻合わせ」を参照して合わせ直してください。



日針が逆回転で早運針してしまう

これは、基準位置合わせができていないことを知らせる機能が働いているためです。(基準位置合わせ未完了警告表示)

このような場合には、本文「15. 基準位置合わせ」を参照して合わせ直してください。



17. 製品仕様

- ・機種：676 *
- ・型式：アナログクオーツウオッチ（多針）
- ・水晶振動数：32,768Hz
- ・時間精度：平均月差± 20 秒以内 常温（+5℃～+35℃）携帯時
- ・作動温度範囲：-10℃～+60℃
- ・変換機：2 極ステップモーター 4 個
- ・付加機能
 - ・パーペチュアルカレンダー機能
 - ・アラームⅠ
 - ・アラームⅡ
 - ・ローカルタイム
 - ・ローカルタイムアラーム
 - ・ミニッツリピーター（時刻報知音）…2種類の音の組み合わせにより現在時刻の時、分を音で報知する機能
 - ・サウンドモニター
 - ・その他…時刻合わせ未完了警告表示、基準位置合わせ未完了警告表示

- ・使用電池：小型銀電池 1 個、電池番号：280 - 44 (SR927W)
- ・電池寿命：約 2 年

使用条件目安：・アラーム I (10 秒) 1 回 / 2 日
・アラーム II (16 秒) 1 回 / 日
・ローカルタイムアラーム (15 秒) 1 回 / 4 日
・時刻報知音 (17 秒) 1 回 / 日

※使用頻度および音の鳴り時間により電池寿命は異なります

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

B. エコ・ドライブ クロノ

1. 商品の特長 48
2. ご使用になる前に..... 48
3. 各部の名称 49
4. 時刻とカレンダーの合わせ方 50
 - ・時刻の合わせ方
 - ・カレンダーの合わせ方
 - ・月齢の合わせ方
5. クロノグラフの使い方 55
6. 充電量表示の見方..... 59
7. 充電時間の目安..... 61

ECO-DRIVE CHRONOGRAPH

機種 No. 980*

- 8. エコ・ドライブ特有の機能について... 62
 - ・充電警告機能
 - ・過充電防止機能
- 9. エコ・ドライブ取り扱い上の注意..... 64
- 10. オールリセットについて..... 66
- 11. 製品仕様..... 68

1. 商品の特長

この時計は、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるエコ・ドライブ（ソーラーパワーウォッチ）です。

また、次の機能があります。

- ・クロノグラフ機能……………1/5秒単位の計測で、最大12時間測定ができます。
- ・充電量表示機能……………二次電池にどのくらい充電されているか、4段階で表示します。
- ・月齢（ムーンフェイズ）表示つきです。

2. ご使用になる前に

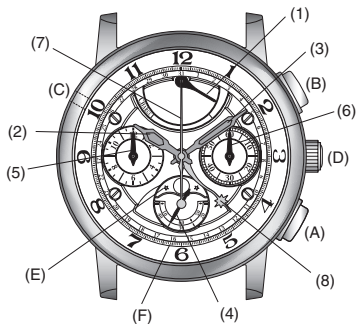
この時計を快適にご使用いただくためには、常に明るい場所での保管を心がけてください。

また、保管中もときどき、直射日光に当てるなど「7. 充電時間の目安」を参照し、ソーラーセル（文字板面）に光を当てて充電してください。

一度充電完了すると約10カ月間時計は動き続けます。

なお、長期間ご使用にならない場合は、充電量表示針が「レベル3」になるまで充電してから保管されることをおすすめします。

3. 各部の名称



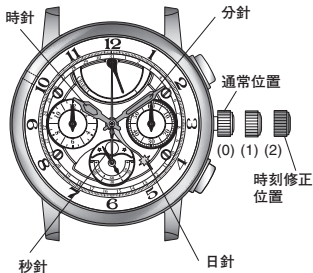
※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

1.	充電量表示針
2.	時針
3.	分針
4.	秒針
5.	クロノグラフ時針
6.	クロノグラフ分針
7.	クロノグラフ秒針
8.	日針
A.	(A)ボタン (リセット)
B.	(B)ボタン (スタート / ストップ)
C.	(C)ボタン
D.	りゅうず
E.	月齢
F.	クロノグラフ目盛

4. 時刻とカレンダーの合わせ方

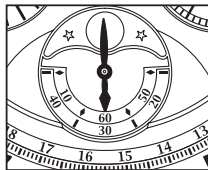
【時刻の合わせ方】

- 1) リューズを2段引き（時刻修正位置）にします。
- 2) リューズを回して時刻を合わせます。
・日針が移動したときが午前0時です。午前、午後に注意して時刻を合わせてください。
- 3) リューズを通常位置にもどします。



「正確に合わせるポイント」

- ・秒針が60秒位置にきたときに、リ्यूーズを2段階引きにします。
- ・リ्यूーズを回して時刻を合わせます。
- ・分針を現在時刻より4～5分進めてから、針をもどしながら現在時刻に合わせてください。
- ・時報等に合わせてリ्यूーズを通常位置にもどすと正確な時刻に合わせることができます。



60秒位置

《秒の読み取り方》

秒針の短い方で内側の目盛の45秒から15秒を指し、長い方で外側の目盛の15秒から45秒を指します。



秒針の短い方で45秒～15秒を指します。



秒針の長い方で15秒～45秒を指します。

【カレンダーの合わせ方】

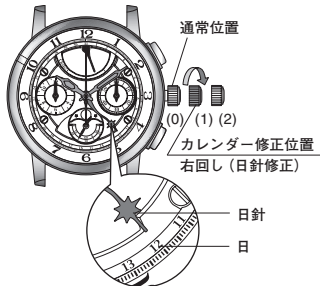
この時計は、オートカレンダーではありません。小の月（月末が30日と2月末）から翌月の1日へは、りゅうず操作で修正してください。（日針は31日周りで表示します。）

- 1) りゅうずを1段引き（カレンダー修正位置）にします。
- 2) りゅうずを右に回して日針を動かし、日を合わせます。（左に回すと月齢の修正になります。）

・時計が午後9時頃～午前1時頃を指している時間帯は、日合わせを行わないでください。この時間帯に日合わせを行うと、翌日になっても日が変わらないことがあります。

- 3) 日合わせが完了したら、りゅうずを通常位置までもどしてください。

*日は午前0時頃に自動的に切り替わります。お昼の12時頃に切り替わる場合は、時間を12時間進めて日を合わせ直してご使用ください。

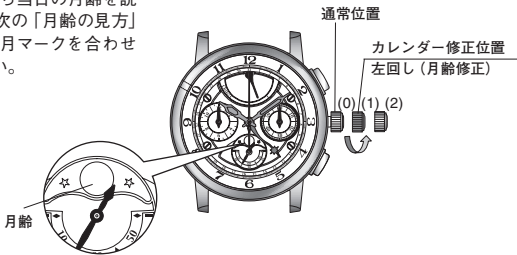


【月齢の合わせ方】

月齢は、月齢を表示したもので月そのものの形を表したものではありません。月齢の目安としてご利用ください。

- 1) リューズを1段引き（カレンダー修正位置）にします。
- 2) リューズを左に回して、今日の月齢に合わせます。（右に回すと日の修正になります。）





- ・新聞等から当日の月齢を読み取り、次の「月齢の見方」を参考に月マークを合わせてください。



「月齢をより正確に合わせるには」

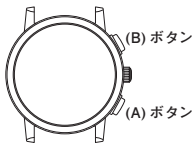
新月(月マークがまったく見えない状態……月齢 0)または、満月(月が真上 /12 時方向にある状態……月齢 15) のときに合わせると、より正確に合わせることができます。

「月齢の見方」(表示例)

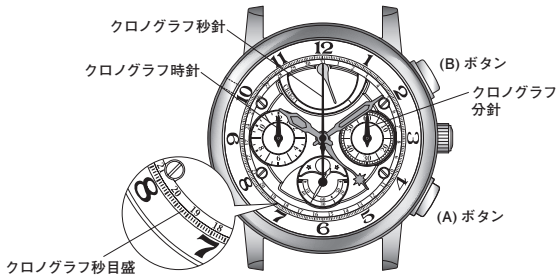
新月 (New moon) 月齢 0 (大潮)	上弦 月齢 約 7 (小潮)	満月 (Full moon) 月齢 約 15 (大潮)	下弦 月齢 約 22 (小潮)
			

5. クロノグラフの使い方

- ・クロノグラフは1/5秒単位の計測で、最大12時間まで計測表示します。12時間経過するとクロノグラフは自動的に停止します。
- ・計測をはじめるときは、クロノグラフの各針が12時にもどっていることを確認してから計測を行ってください。
12時にもどっていない場合は、(A) ボタンを押してもどしてください。
- ・(B) ボタンはクロノグラフの計測をはじめたことをお知らせするため、最初のスタート時のみ、押し力がいくぶん強めに設定されています。カチッと音がするまで確実に押してください。

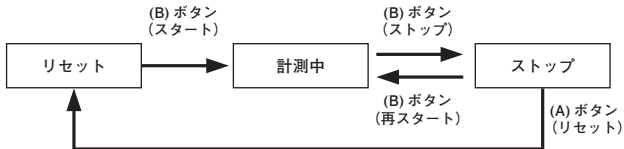


【クロノグラフリセット状態】



<計測方法>

- 1) (A) ボタンを押し、リセット状態にして (B) ボタンを押すと、計測をスタートします。
再度 (B) ボタンを押すと計測をストップします。
 - ・(B) ボタンは押すごとにスタート、ストップを繰り返します。
- 2) ストップ後 (A) ボタンを押すと 0 秒にリセットされます。
 - ・計測中に (A) ボタンを押してもリセットされません。
 - 計測値をリセットする場合は、(B) ボタンを押し計測をストップした後、(A) ボタンを押してください。



< 12 時間計測後、再度計測をはじめるには >

- ・ 12 時間継続して計測をすると、自動的に計測が終了しクロノグラフ各針が 12 時位置で停止します。

この場合は 0 にリセットされていないため、必ずリセットを行ってください。

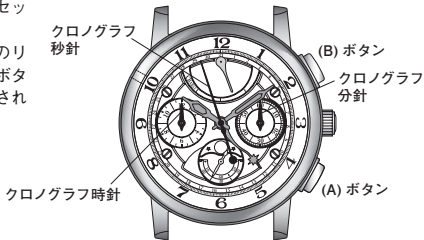
< リセットの方法 >

- 1) (B) ボタンを押してストップ状態にします。

- 2) (A) ボタンを押してリセットをします。

- ・ これで 12 時間計測後のリセットが完了され、(B) ボタンを押すと計測が開始されます。

【クロノグラフ秒針が正しくリセットされていない状態】







【注意】 クロノグラフ計測中は、時計に強い衝撃を加えないでください。

- ・クロノグラフ計測中や、12 時間経過後自動的に停止した状態で強い衝撃等が加わると、クロノグラフの針がまれにずれることがあります。
その場合、前記方法でリセットしてください。

6. 充電量表示の見方

- ・二次電池にどのくらい充電されているか、充電量（目安値）を 4 段階に分けて表示します。
- ・充電量表示針は各レベルの中央を示します。
- ・充電量表示は目安量を表示しています。お使いになる際は目安値としてご活用ください。通常はレベル 2 以上でお使いいただくことをおすすめいたします。
- ・充電完了からのレベル持続時間は、クロノグラフの使用頻度によって異なります。

【二次電池充電量の見方】

レベル	CHARGE	レベル 1	レベル 2	レベル 3
充電量表示				
持続時間 (目安値)	約6日	約6日～6カ月	約6カ月～9カ月	約9カ月～10カ月
	充電警告をお知らせするレベル	やや充電量が不足しているレベル(早めにレベル3になるまで充電してください)	安心してご使用いただけるレベル	充電完了レベル

【注意】

充電量表示針が「CHARGE」を指すと、二次電池の容量がほとんどなくなり秒針が2秒毎に運針します。

約6日経過すると容量がなくなり、時計は停止します。この状態になる前に必ず充電してください。

7. 充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	照度 lx (ルクス)	充電時間 (約)			
		1日動かす ために必要 な充電時間	止まり状態 からレベル1 (1秒運針)ま での充電時間	止まり状態 からレベル 2までの充 電時間	止まり状態 からレベル3 (充電完了)ま での充電時間
屋外 (晴天)	100,000	2分	25分	6時間	10時間
屋外 (曇天)	10,000	12分	2時間	40時間	70時間
30W 蛍光灯の20cm下	3,000	40分	6.5時間	130時間	210時間
屋内照明	500	4時間	45時間	————	————

1日分の充電時間：時計が1秒運針のときに1日動かすのに必要な充電時間。

充電完了時間：時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。

レベル1：1秒運針しても十分充電していません。レベル2以上になるまで充電してください。

8. エコ・ドライブ特有の機能について

【通常時刻表示】



光が当たらず充電
不足になると



光を当て充電
していくと

【充電警告表示】

秒針が1秒運針から2秒運針に切り替わり、
充電量表示針が「CHARGE」を指します



充電せずそのまま時
計を約6日間使用し
続けると



2秒
2秒

充電が不十分のときは
2秒運針が続きます

充電量表示針がレベル3を指すまで（秒針が1秒運針にもどります）
光を当て充電を行なった後、時刻を合わせてご使用ください。

通常運針から充電警告機能に切り替わった場合は、充電量表示針が「レベル 3」を指すまで「7. 充電時間の目安」を参照し、光を当てて充電してください。

【停止状態】

すべての針が停止します



【注意】 時計が停止した場合は、光を当ててもすぐには動きません。最短でも10分を要します。

【充電警告機能】

秒針が1秒運針から2秒運針に切り替わり、充電不足になったことをお知らせする機能です。すぐに充電してください。なお、この状態ではクロノグラフは動きません。

【過充電防止機能】

文字板に光が当たり、二次電池が充電完了になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。どんなに充電しても二次電池や時計精度、機能、性能等に影響を及ぼすことはありません。

9. エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

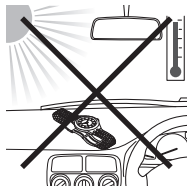
- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60℃以上）での充電は避けてください。

例)

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
- ※白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。

ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告 指定の二次電池以外は使わないでください

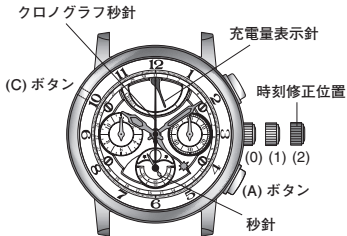
- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

10. オールリセットについて

- ・ 静電気や磁気および、強い衝撃等を受けると正しい時刻を表示しない場合があります。
- ・ このような場合には、オールリセットを行ってください。
- ・ オールリセットを行う前に、必ず充電し充電量表示針が「レベル 2」以上を指していることと、クロノグラフがリセット状態になっていることを確認してください。

【オールリセットの方法】

- 1) 秒針が 60 秒にきたときに、リゆうずを 2 段引き（時刻修正位置）にします。
- 2) (A) ボタンと (C) ボタンを同時に押します。
 - ・ 充電量表示針が「レベル 3」に移動し、基準位置合わせを自動的に行います。



3) リューズを通常位置にもどします。

- ・充電量表示針がデモンストレーション運針（振り子運針）を行い、秒針が1秒運針をはじめます。なお、充電量表示針は「レベル2または3」を示します。
- ・これでオールリセット操作は完了です。各操作手順に従い時刻等を正しくセットしてご使用ください。

11. 製品仕様

- ・機種：980 *
- ・型式：アナログ ソーラーパワーウォッチ
- ・時間精度：平均月差± 15 秒 常温（+5℃～+35℃）携帯時
- ・水晶振動子：32,768Hz
- ・作動温度範囲：-10℃～+60℃
- ・表示機能：
 - ・時刻：時、分、秒
 - ・カレンダー：日（針表示）、月齢
- ・付加機能：
 - ・クロノグラフ（1/5 秒単位で最大 12 時間まで計測表示）
 - ・充電量表示（4 段階の扇型表示）
 - ・充電警告機能（2 秒運針）
 - ・過充電防止機能
- ・持続時間：
 - ・充電完了後、充電しないで時計が停止するまで：約 10 カ月（クロノグラフの使用頻度によって、持続時間は異なります）
 - ・2 秒運針～時計が停止するまで：約 6 日
- ・使用電池：二次電池（ボタン型リチウム電池） 1 個

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

C. レディース

LADIES

- 1. 商品の特長 70
- 2. 時刻の合わせ方 70
- 3. 年差10秒の時間精度について 71
- 4. 電池寿命切れ予告機能について 72
- 5. 製品仕様 73

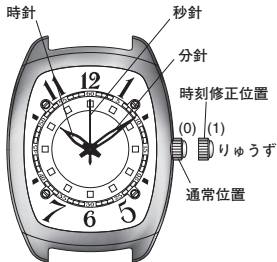
機種 No. **033** *

1. 商品の特長

この時計は、年間の時間精度が約±10秒以内の高精度を実現した、3針アナログクオーツウォッチです。

2. 時刻の合わせ方

- 1) 秒針が0秒位置にきたときに、りゅうずを時刻修正位置まで引き出します。
- 2) りゅうずを回して、時針と分針を現在時刻に合わせます。
- 3) 時報等に合わせてりゅうずをきちんと通常位置まで押し込みます。



*お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

3. 年差 10 秒の時間精度について

この時計の精度は年間の進み、遅れが約±10 秒以内です。

<年間の最大進み、遅れを約±10 秒以内に保つためには>

この時間精度を維持するためには常温(+5℃～+35℃)の環境下で使用され、かつ1日に12時間程度の携帯をしたときです。

このような条件以外のときは、若干精度誤差が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

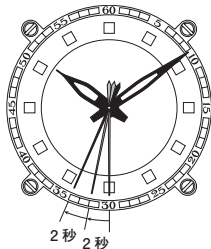
<月間の進み、遅れについて>

この時計の月間での進み、遅れは必ずしも±10秒×1/12になりません。使用環境(温度変化=季節など、携帯時間、その他)などによっては月差約±2秒を超えるときもあります。

4. 電池寿命切れ予告機能について

電池寿命が近づくと、秒針が2秒運針（2秒毎に2目盛ずつ運針）に切り替わります。

このときも時計は正確に動いていますが、このような場合は早めに電池交換を依頼してください。



5. 製品仕様

- ・機種 : 033 *
- ・型式 : アナログクオーツウォッチ
- ・時間精度 : 平均年差約±10秒 常温(+5℃~+35℃) 携帯時
- ・水晶振動数 : 32,768Hz (Hz = 1秒間の振動数)
- ・作動温度範囲 : -10℃~+60℃
- ・表示機能 : 時、分、秒
- ・付加機能 : 電池寿命切れ予告機能
- ・使用電池 : 280-76 (SR914SW)
- ・電池寿命 : 約3年

*上記仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

お取り扱いにあたって

警告 防水性能について

- ・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。
(1bar は約 1 気圧に相当します)
- ・WATER RESIST(ANT) ×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計 (3 気圧防水) は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

- 日常生活用強化防水時計 (5 気圧防水) は、水泳などには使用できますが、素潜り (スキューバダイビング) やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計 (10 / 20 気圧防水) は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例



水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)



水仕事や一般水泳に使用。



スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。



空気ポンプを使用するスキューバ潜水に使用。



水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。

×

×

×

×

×

○

×

×

×

×

○

○

×

×

×

○

○

○

×

×

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

- ・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、リゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- ・皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

警告 電池の取り扱いについて

- 万一電池をはずした場合は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。

警告 電池交換について

- 電池寿命切れの時計をそのまましておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- 電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落とししてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

